

研究補助者ヒアリングの様子



大学教員の研究補助の仕事は堅苦しく聞こえますが、先生方のフォローや暖かい言葉でやりがいを感じているとおっしゃる方や、研究者として働く姿に自分の未来を重ねる大学院生の方もいらっしゃいました。専門用語が飛び交う中での仕事は戸惑いがあったが、気持ちが生徒時分に戻り、新たな向学心に芽生えた方もいらっしゃいました。

お申し込み
男女共同参画推進室

2/5(火)より研究補助者の募集を開始しました。研究補助者制度は育児・介護等を抱える研究者に研究の時間を確保し、研究を促進するために設けられました。ご利用いただいた研究者の方にはご好評頂き、平成25年度の継続も決定しました。

募集期間：平成25年2月5日(火)～2月12日(火)

対象：本学の女性研究者(教授、准教授、講師、助教)のうち以下の①～⑤いずれかの事由により、または、配偶者が大学等で研究に従事している男性研究者(教授、准教授、講師、助教)のうち、以下の①・②いずれかの事由により研究時間を十分に確保することが困難な者

- ①妊娠中または小学校6年生までの子を育児していること
- ②本人又は配偶者の親、配偶者、子、本人の兄弟姉妹の介護・看病していること
- ③勤務の関係で配偶者と別居し、単身赴任となっていること(女性研究者に限る)
- ④女性であるために委嘱される学内外の委員等の負担が重いこと
- ⑤その他男女共同参画推進室長が必要と認める場合

期間：平成25年4月以降の研究補助者雇用開始日から平成26年3月31日(予定)

研究補助者配置制度とは？

この制度は研究者が育児・介護等を理由に研究を断念することなく、研究と育児・介護等を両立させつつ、優れた研究を推進することができる環境を作る目的で行っている制度です。香川大学では平成22年度から実施し、これまでに20名の研究者が利用されました。来年度は1年間通年でも利用可能です。

研究補助者利用者の声

- ・子育てで大変な30代～40代の女性に利用してほしい制度です。
- ・補助者制度が唯一の助けになっています。



研究補助者の声

- ・女性には家庭での子育てや介護を背負いながら生きていくことを余儀なくされている現状だが、その中で研究や社会生活を続けていくためには、このような制度が必要だと思う。
- ・自信を持って仕事をしたい。
- 男女共同参画推進室までお問い合わせください。**

男女共同参画推進室までお問い合わせください。

参加申し込み 承り中！

セクシュアル・ハラスメントのない安心安全な職場づくり

教職員や学生にとって安全な職場・学習環境は、安心して就学・就業を続けていくために欠かせないものであり、大学には安全な環境整備に対する配慮が求められ、セクハラ等の性暴力を未然に防止する責任があると考えられています。

本講座では弁護士の西脇氏をお招きし、具体的な事例に触れながらセクシュアルハラスメントの定義や規制に関連する法律、防止措置の責務、組織としての解決法、学生を含めた個人がリスクを回避するための対応等ご教示いただきます。

セクハラの兆候を見逃さず迅速に対応する事。二次被害を防ぎ安全に相談を受けるためにもぜひご参加ください。

日時：平成25年3月14日(木) 13:00～14:00(質疑応答含む)
場所：幸町 法学部棟1階 J1教室

[illegible]

参加申し込み 承り中！

香川大学女性研究者研究交流会 in 幸町 アカデミズムにおけるジェンダーの平等

香川大学に男女共同参画推進室が設立して早2年半。女性研究者の比率を高める取組を通して、優秀な女子の指導を充実させ、可能性を広げ、活躍を促すことで、大学の活性化をめざし、地域に貢献できる新たな人材の育成を目指してきました。

しかし、実際女性研究者を目指しても、「結婚できる?」「子どもが欲しい」「介護があって…」など、さまざまな問題にぶつかります。そんなとき心強いのは諸先輩方のロールモデル。でも身近にはなかなか…というのが現実です。

香川大学には、優れた研究に取り組む女性の研究者がたくさんいます。研究交流を通して、情報交換をいたしましょう。またこの度招聘する鮎恵子教授（スウェーデン王国ヨーテボリ大学医学細胞生物学）は、スウェーデンで活躍される研究者で、日本からも多くの若手研究者をスウェーデンに招き指導されています。グローバルな活躍を見せる鮎教授から見た日本の状況は？北欧の進んだジェンダー平等社会って？ これからの香川大学に何が必要か、鮎教授の講演にぜひご参加ください。

日時：平成25年3月27日(水)14:00~17:20

場所：幸町 教育学部北3号館1階 313講義室

お申込み

男女共同参画推進室

Tel 087-832-1055

男性の方も

奮ってご来場ください

香川大学女性研究者研究交流会 in 幸町 アカデミズムにおけるジェンダーの平等 ～スウェーデンと日本の女性研究者による対話～

日時：平成25年3月27日(水)14:00~17:20

場所：教育学部 北3号館 1階 313講義室

講師：香川大学名誉女性研究者(研究補助者利用者含む)および新任予定者

問題提起 鮎 恵子 教授(Aiko FUNA)

スウェーデン王国 ヨーテボリ大学医学細胞生物学

スウェーデンへの研究交流推進予定者 矢倉富子(医学部)・浅川裕子(農学部)・林 高典子(シニティグラフィックス株式会社)

対象：香川大学若手研究者(もしくは若手だと感じている研究者)・研究補助者利用者・大学院生 若男性も大に歓迎

主催：香川大学男女共同参画推進室 協力：スキャンジニアリティー ササカワ財団

時間：14:00～開会 挨拶

14:10～香川大学女性研究者 研究交流リレー (各都府2名程度3分×10人)

香川大学新任の女性研究者の紹介

15:00～英語会・質疑 (研究発表者は発表のみの前で30分ほど質疑)

16:00～問題提起「女性が活躍して当たり前の国、スウェーデンで研究活動をする上」

16:40～質疑

16:55～スウェーデンへの研究交流推進について紹介

17:20 閉会



講師 鮎 恵子先生プロフィール

スウェーデン王国 ヨーテボリ大学医学細胞生物学

神戸生まれ 神戸美校出身 京都大学医学部卒業

グザウ大学で博士号取得 アメリカNBAでボスドク

香川大学男女共同参画推進室

鮎(ゆ)恵子(けいこ)先生(1957年11月10日生まれ)

神戸市生まれ 神戸美校出身 京都大学医学部卒業

グザウ大学で博士号取得 アメリカNBAでボスドク

香川大学男女共同参画推進室

鮎(ゆ)恵子(けいこ)先生(1957年11月10日生まれ)

神戸市生まれ 神戸美校出身 京都大学医学部卒業

グザウ大学で博士号取得 アメリカNBAでボスドク

香川大学男女共同参画推進室

センター入試時の託児 実施報告

1/19(土),1/20(日)のセンター入試時に教職員のお子様の託児を実施しました。この託児の実施に際し、1/11(金)“より安全・安心な託児”のための香大っこサポーターフォロー講座を開催しました。講師に託児ボランティアあゆみの梶ヶ谷氏をお迎えし、おむつ交換や粉ミルクの調合などのお世話に関する事や、身近にひそむ危険箇所を子どもの動作傾向に関連付けてのお話がありました。講座の成果は本番の託児場面で花開きました。

19日(土)に集まったお子さんは5名。梶ヶ谷さんとあゆみスタッフ2名で託児をされました。ご両親と離れるとき泣くお子さんもありましたが、さすがベテランスタッフ。すぐに楽しい遊びでお子さんの笑顔が戻りました。ままごとでごはんを作ってくれたり、本を読んだり。思い思いのおもちゃで遊んだ後はおいしいお昼ごはん。お弁当を見せっこしておいしくいただきました。お腹がいっぱいになったらお昼寝。ぐっすり休んで午後からの遊びに備えます。起床後はプラレールやボールで遊びました。

20日(日)には7名のお子さんが集合！年齢に合わせた遊びを梶ヶ谷さん、あゆみスタッフ1名と香大っこサポーターの学生さん4名と楽しみました。ままごとやぬり絵、ブロックなどで楽しんだ後はお昼ごはん。みんなでお弁当を広げ遠足気分での食事は楽しそうでした。ごはんの後はお昼寝。みんな遊び疲れてウトウト…。お昼寝から目覚めたこどもたちはお迎えの時間まで折り紙や積み木で元気に遊びました。

また来年に
会おうね！



お昼寝タイム

1/11香大っこサポーター フォロー講座の様子



梶ヶ谷さんの話に耳を傾ける
香大っこサポーター



子どもの目線で見ると、室内
は危険がいっぱいです

昨年のRiJiカフェ



参加者の記念撮影

4名の理事と女性教職員53名と男性教職員14名の大勢で賑わった昨年のRiJiカフェ。イタリアではこの日に尊敬する女性にミモザの花を渡す習慣が。これにならって男性陣から女性陣へミモザのプレゼント。



香川大学男女共同参画推進室

香川県高松市幸町1-1
北5号館1階

電話：087(832)1055
内線：1055
FAX：087(832)1057
電子メール：
sankaku-room@ao.kagawa-u.ac.jp
ホームページ：
http://www.kagawa-u.ac.jp/sankaku/

参加申し込み 承り中！

今年はcafé Seigo がオープンします！

カフェオーナー 長尾善吉学長

café Seigo

気持ちひとつ、希望はいっぱい私たちに

Mimosa

花言葉は豊かな感受性

3月8日の国際女性デーを記念して、女性限定のカフェ・セイゴをオープンします。仕事の手を休めて、講義の後に、お帰りの前に、おいしいお茶とスイーツを食べて帰ませんか？香川大学の女性ならどなたでも参加できます。あなたの大学生活について、学長や管理職の皆さんと気軽に話してみよう。女性にいいお茶をいれてくださる男性も、大に歓迎します。

と き：2013年3月6日(水)15:30~17:00
と ころ：大学会館1階ホール(キャリア支援センター横)
ひ と：香川大学の女性 学生・職員・教員
 (非常勤の方もどうぞご参加ください)
※ 男女共同参画に貢献した学生さんの表彰も行います。
申 込：男女共同参画推進室 締切2月末日

3月8日 国連「国際女性の日」International Women's Day、世界中で「国際女性の日」のイベント、シンポジウム、集会が開かれます。ヨーロッパではこの日、男性が尊敬する女性にミモザの花を贈ります。いつもがんばっている女性たちに敬意を表する日です。参政権を求めて女性たちが立ちあがった日から100年あまり。“女性が元気になる、男性も元気になる、社会はよくなる” 香大で働く私たち、そして、学ぶ女子学生の皆さんも、いっしょに世界に思いをはせておしゃべりしましょう。

香川大学男女共同参画推進室

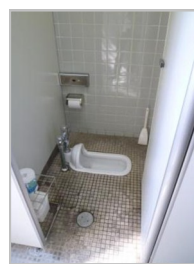
電話：087(832)1055
内線：1055
FAX：087(832)1057
電子メール：
sankaku-room@ao.kagawa-u.ac.jp
ホームページ：
http://www.kagawa-u.ac.jp/sankaku/

国連事務総長が女性の十全かつ平等な社会参加の環境を整備するよう、加盟国に対し呼びかける日となっている3/8国際女性デー。

この国際女性デーを記念し、昨年初開催となった「RiJiカフェ」。今年はなんと長尾学長が「Café Seigo」をオープンします！香川大学の女性であれば、どなたでも参加できます。普段お話しする機会が少ない学長や管理職の方々とおいしいお茶とスイーツを囲んでお話しませんか？

昨年の「RiJiカフェ」では女性の皆様からの“理事への25のお願い”と題し、香川大学への女性ならではの愛ある提言を頂戴しました。学生や教職員から要望の多かった図書館のトイレ改修が実現し、さらに誇りの持てる香川大学へと変貌を遂げました。現場で働き、学ぶ者の声を大学に届けてみませんか？

昨年3月
このトイレが



今はこんなに
きれいに！

お手伝い下さる男性の方のご参加もお待ちしております！「香大にこんなにたくさん女性が居たの？」とびっくりさせる女性陣のパワーにご注意ください。

日時：平成25年3月6日(水)

15:30~17:00

場所：大学会館1階ホール
(キャリア支援センター横)

対象：香川大学の女性
学生・職員・教員
(常勤・非常勤問わず)

お申込みは2月末まで
男女共同参画推進室にて
承っております
お誘い合わせの上
多数のご参加
お待ちしております